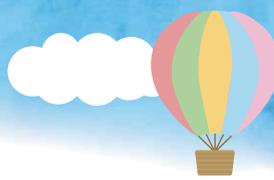


晴るばる



JA KITAHARUKA
PR brochure
HARUBARU



vol. 194
2023. 7月号

幼児・学校給食センターへグリーンアスパラ寄贈

美深

美深中学校で「農業体験学習」を行いました

6月6日、北はるか管内の美深中学校で地元の農業を理解してもらうため、基幹産業である農業の現状について、営農販売部 岡田部長よりオリエンテーションを行い、併せてJA職員と植え付け作業を実施致しました。

生徒たちは6班に分かれ、クワやマルチ、カラス口などの慣れない農具を使用して作業を行い、それぞれ南瓜・馬鈴薯・スイートコーンの植え付けを行いました。9月の収穫時期まで生徒達が草取りや水やり等の管理を行い、10月には農業体験をまとめた学習発表会が行われる計画となっています。

また、当JAが出荷をしている取引先のご厚意により、地元産の馬鈴薯を使ったポテトサラダやかぼちゃのレトルト、甜菜から作られたオリゴ糖などが配られました。生徒たちは地元の農産物がどのような形で消費者に届いているか実感が出来たようです。

生徒達は本体験を通じて、食べ物を作る大変さや、その重要性、生産物の商品化等、様々なことを学べるのではないかと思います。



オリエンテーションの様子(美深中学校にて)

美深

美深町菊丘公園にて畜魂祭が執り行われました

6月9日に美深町菊丘公園にて美深町畜産生産組織連絡協議会(会長 渡辺直秀)の主催により畜魂祭が行われました。

美深町長をはじめ各関係団体及び生産組織の代表の方々が参拝を致しました。家畜の御霊を供養し命の恵みに感謝しながら、参列者が順番に畜魂碑に向かい玉串を捧げて手を合わせました。

参拝終了後は懇親会が行われ、意見交換をしながらさらに親睦が深められました。

佐藤畜産課長は、「コロナ禍で畜産農家もさまざまな影響がありますが、今年も関係者一同で参拝する事ができました。今後も家畜への感謝の気持ちを忘れず、健全な畜産業務を行ってまいります。」と話しました。



畜魂祭の様子

フォトレポート 美深	2
フォトレポート 下川	4
フォトレポート 中川	5
フォトレポート 青年部	6
先輩就農者	7
理事会報告書・行事予定	8
営農情報	9
熱中症予防	10
警察より・組合員の異動・編集後記	12

今月の表紙



今年も地元で生産された野菜を地域の子供たちに食べて頂きたいとの願いを込め、北はるか管内の幼児センターと学校給食センターへそれぞれ寄贈しました。5月31日(水)には小林治雄組合長が下川町教育長の川島政吉氏を訪問し、「下川産のアスパラを食べて食育、ふるさとを知る機会に役立ててほしい」と伝え手渡しました。川島教育長からは「子どもたちに栄養教諭を通じて、地元のもの食べられる幸せを伝えていきたい」と感謝のお言葉を頂きました。

美深

廃プラ回収作業を実施

生産者が使わなくなった農業用廃プラスチックを適正に処理するために、6月21日から2日間に渡って回収作業を物流センターで行いました。

農業用ハウスやトンネルの被覆資材、マルチ、畜産のサイレージラップなどの生産資材を積んだトラックが次々に訪れ重量を測定した後、職員がフォークリフ

トで荷下ろしし、最終的には苫小牧の処分業者へ引き渡した後、固形燃料などにリサイクルされます。

今回の作業では美深・音威子府地区で約30トン回収致しました。今後も組合員が利用しやすい体制づくりを目指し廃プラ類を適正に処理できるよう回収作業を行ってまいります。



フォークリフト作業風景

美深

避難訓練を行いました

6月27日JA北はるか本所にて避難訓練を実施しました。3階乳検組合室からの出火を想定し、本所役職員32人が参加しました。男性職員に初期消火をしてもらい、避難誘導係が皆を駐車場へ誘導し、全員居る事を自衛消防隊長(渡辺常務)に報告するまでの本番さながらに一連の流れを確認しました。

渡辺常務は「避難訓練は避難したら終了ではありません。避難場所の経路の確認、避難誘導後の点呼

などの行動も重要になってきます。これからも継続して避難訓練を行い、迅速な対応ができるよう日頃から防災意識を高めていきましょう」と職員に啓発しました。万が一の事態に落ち着いて対応するためにも、避難訓練の実施は非常に大切な事と学びました。

避難訓練の終了後、消火器の使い方についての訓練も行い使用方法を確認することができました。



消火訓練の様子

下川

田植え体験実施

6月8日、班溪地区の小原農場にて下川町認定こども園こどもの森の「くるみ組」、「さくらんぼ組」を対象に田植え体験が行われました。水田に入る前に苗を渡された園児達からは「この苗は人間に例えると何歳ぐらいですか？」との質問を受け、葉の数で何歳くらいか見分ける事ができますと小原さんから説明を受けま



した。また、苗の植え方についても指導して、とても興味深く聞いていました。その後、園児達は裸足で水田に入ると転びそうになったり泥だらけになりながらも、大人の補助を受け終始笑顔で溢れ、楽しい雰囲気で行っていました。

下川

スケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室

6月15日に下川商業高等学校グラウンドで全校生徒88名を対象に、JA共済連北海道・北海道警察が主催・JA共催による交通安全講習会を行いました。

共催者挨拶として小林組合長より「生徒の皆様には事故の恐ろしさを実感していただき改めて自転車交通ルールを守り、事故のない安全で快適な学生生活が送れますことを心からお祈りします。」と述べられました。

スケアード・ストレイトとは「恐怖の直視」という意

味で、受講者に「恐れ」を与え社会通念上望ましくない行為を自主的に行わせないようにする教育技法のひとつです。

今回は受講者の目の前でスタントマンが体を張って、よくある自転車交通事故を再現しルールやモラル守らないことにより、どんな恐ろしい目に遭うかを考えてもらいました。将来、自分自身が交通事故に遭わないための重要な事に気付いてもらい、交通事故が少しでも減ることに繋がればと思います。



小林組合長の挨拶



スタントマンによる事故再現



中川

中川地区生産者交流会

中川地区生産者交流会(酪農)が7月6日に開催されました。

今回は新型コロナウイルスの感染対策期間中に新規就農された方も含めた歓迎会で、約3年ぶりの開催となりました。生産者家族・JA職員併せて31名ほどが集まりジンギスカン鍋を囲み、途中ビンゴ大会なども

開催し子供たちも盛り上がっておりました。

交流会後の挨拶で黒澤支所長は「コロナ前は年に数回開催していたので、今後もこのような機会により農業者とJAの連携を密なものにしていければと思います。」と述べました。



中川

幼児センターへアスパラ・チーズ寄贈!

6月15日に中川町幼児センターへ、黒澤支所長が訪問し北はるか産のグリーンアスパラとさけるチーズを寄贈しました。

「おいしいアスパラとチーズを食べて元気よく大きくなってください」と幼児センターの園児達に伝え手渡すと、園児達は小さい体で5kgのアスパラ箱とさける

チーズ4箱を受け取り、「ありがとうございました!」と元気よくお礼をしておりました。

今回、寄贈した食材は幼児センターの給食として小松菜とベーコンのアスパラソテー等に調理され、チーズはおやつとして提供されました。



6月16日、JA北はるか青年部が下川商業高校にてグリーンアスパラガスとフルーツトマトに関する授業を行いました。

この取り組みは、3年生が毎年行う地元産農産物等の販売実習に先立ち、作物の特性や魅力を学んで欲しいと青年部員の働きかけで今年から実施する事となりました。

授業はスライドショーを利用し下川町の農業の概要やPRの為に取組、作物の生育の様子などを学んでも

らい、その後アスパラに関するクイズを実施しました。生徒達は熱心な様子で授業に耳を傾け、クイズにも積極的に取り組むなど非常に有意義な授業となりました。

品地 青年部長は「真剣に話を聞いて頂き非常にうれしい。皆さんには地元産の農産物の魅力や取組について、販売実習で活かしていただきたい。生産者と消費者の懸け橋となって頂けるよう期待しています」と感想を述べました。



JA北はるか青年部主催 ビールパーティー開催！！

7月12日にJA北はるか青年部主催で、“第5回農業者アグリビールパーティー”が開催されました。コロナ禍で3年間は開催中止となっており、実に4年ぶりの開催となりました。当日は生産者や各関係機関、JA職員など約120人にご来場頂きました。

今年は青年部員の物販の他、地元の道の駅にも出店を頂き、来場した皆様はジンギスカンや焼き鳥、塩キャベツや揚げたてのコロッケに舌鼓を打っておりま

した。

また各企業の皆様の協賛を頂き、豪華景品が当たる抽選会が行われ大いに盛り上がりました。青年部の品地一彰部長は「久しぶりの開催で不安もありましたが、多くの方のご協力で盛況のうちに終える事ができ、感謝致します。今後も青年部事業を活発に行い、地元農業を盛り上げていきたいです。」と気持ちを述べました。



かじの としみ
梶野 利規さん

プロフィール

年 齢 50歳
 出 身 地 埼玉県
 家 族 構 成 妻 牧子(まきこ) 長男 山湖(さんご)
 長女 蓬(よもぎ) 次女 苺(いちご)
 趣 味 バスケット、乗馬
 経 営 規 模 経産牛27頭、育成12頭、牧草地40ha



利規さん 苺さん 蓬さん 山湖さん 牧子さん

●北はるか管内で就農する事となったきっかけ(動機)は？

4年前から美深町立仁宇布小中学校に子供が山村留学をする事になり、夫は枝幸町で酪農をし離れて生活をしておりましたが、やはり家族一緒に生活がしたいと模索していた所ご縁があり今の牧場に就農しました。

●農業の魅力や、やりがいを感じるどころ

自由に出来るどころ、牛がかわいいのが良い。
 日常生活の中で仕事が組み込まれている所が好きです。



●農業に取り組む中で大切にしている事はなんですか？

牛にストレスを与えないように優しく接する事。
 放牧をする事は健康な牛を育てるのに非常に重要と思っております。

●最後にこれからの夢、課題、抱負などは？

細く、長く、楽しく酪農業を続け、馬、豚、羊も飼育して半自給自足生活を送っていきたいです。

いわもと かおる
岩本 薫さん

プロフィール

年 齢 40歳
 出 身 地 福井県
 家 族 構 成 妻 恵美子(えみこ) 長男 明(はる)
 長女 梨加(りか)
 趣 味 農業、電気工事
 経 営 規 模 かぼちゃ10.4ha、そば1ha、アスパラ1.8ha、
 キャベツ1.0ha、はくさい0.7ha



岩本 薫さん 恵美子さん

●北はるか管内で就農する事となったきっかけ(動機)は？

温暖化による気候変動で地元福井県の気温が35℃近くなったこと、エネルギー・食料不足問題、残り半分の人生のライフプランを見直した結果北海道への移住(就農)を決断しました。

●農業の魅力や、やりがいを感じるどころ

植物は子育てと似ている所があり、手掛けるべき所はしっかりかけて植物本来の力を引き出していく事が魅力だと感じています。また、農業は高度な知識や技能、判断力を必要とし植物のお医者さんです。適切な処方箋を与えて植物が生き生きと育つ所にやりがいを感じます。

●農業に取り組む中で大切にしている事はなんですか？

1. 直感50%、データ50%で優先すべき仕事を判断する。
2. 人を大切に、安全最優先で行動する。
3. 設備等は計画的に予算を立てて修繕する。
4. 地域との融和に努め、事業主としての社会的責任を果たす。
5. コンプライアンスを重視し、ステークホルダーとの信頼を構築する。

●最後にこれからの夢、課題、抱負などは？

3K(キツイ、汚い、危険)のイメージが強く感じるので、自分自身が楽しい農業を体現し、後継者みずから引き継ぎたいと思ってもらえればと考えています。また、作業手順マニュアルを整備するなどして自身が指導する事が出来ない3代目以降にも伝承させていきたいです。

理事会報告



第4回理事会 4月27日(木)

■報告事項

1. 各部からの報告事項について
2. 第1四半期 監事監査の実施について
3. 組合員の異動について
4. 総体的なリスク量管理について
5. 令和5年度 JAバンク経営戦略について
6. 新規就農者現況報告について(下川地区)
7. 担い手定期巡回記録について(中川地区)

■決議事項

- 議案第1号 「職員就業規則」及び「給与規程」の変更について
- 議案第2号 令和5年度 経営定期点検実施計画について
- 議案第3号 営農懇談会の意見集約について
- 議案第4号 行政庁提出「業務報告書」について
- 議案第5号 令和4年度 ディスクロージャー誌の公開について

第5回理事会 6月8日(木)

■報告事項

1. 各部からの報告事項について
2. 令和4年度 上川管内農協の実績について
3. 「JAカレッジ推薦要領」の変更について
4. マネー・ロンダリング調査に係る信用事業でのギャップ分析結果について
5. 顧客属性照会システム定期確認結果について
6. JAバンクの内部管理態勢構築に係る指針について
7. インサイダー取引規制の概要について
8. 夏期手当の支給について

■決議事項

- 議案第1号 第1四半期 監事監査の報告について
- 議案第2号 「職員就業規則」及び「給与規程」の改正について
- 議案第3号 令和4年度 JA財務モニタリングの報告について
- 議案第4号 固定資産の処分について
- 議案第5号 リース契約の締結について(畜産クラスター機械導入事業)

7・8月行事予定

7月31日(月) 営農推進会議・第4回監事会・第6回理事会
8月25日(金) 第7回理事会



農作業安全対策について

夏から秋にかけて農産物の収穫が最盛期となります。農薬散布や農作物管理・収穫作業時の安全対策を徹底し、事故なく収穫の秋を迎えられるよう、以下のことに注意し、作業しましょう



農薬散布作業の留意点

-  散布作業の前には農薬のラベルを確認し、正しく使う
-  散布する際は農薬が飛散しないよう風速や風向きに注意し、風速2m/s以上の風がある場合は散布を中止する
-  作業時にはゴム手袋、防除マスク、防除衣を着用し、作業後は手洗い・うがいを励行し、入浴して全身をよく洗う
-  薬液のドリフト防止のため、薬剤の特性に基づいたノズルを選択し適切な圧力での散布を行う（一般的な防除の散布圧力は1~1.5MPa）
-  使用した農機具は十分に洗浄し、次に使う時に影響が残らないようにする

機械作業中の事故防止



-  作業開始時に作業か所、PTO駆動スイッチは周囲に人がいないことを確認してからONにする
-  機械を離れるときは作業機を下げ、エンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、キーを抜く
-  機械への乗り降りはステップを踏み外さないよう注意するとともに、機械を背にして行わない
-  必ず運転席に座って運転し、座席や乗車位置以外のところに人を乗せない

暑熱対策



-  余裕をもった作業計画を立て、気温の高い時間帯を外して作業を行うなど工夫をする
-  ビニールハウス内は日照により内部の温度が大きく変化するので、体調がすぐれない時や高温時はハウス内作業を避ける
-  作業前には健康状態を確認するとともに、できるだけ2人以上で作業し、定期的に休憩と水分・塩分補給などの声かけや異常がないかを確認し合う

**経験による過信は禁物です！
今一度、安全対策を徹底しましょう！**

！ 農業者の皆様へ！

夏場の熱中症に

注意！



農作業中の熱中症の事例

事例 1
7月、80代、死亡

食事や水分をとらずに炎天下で畑仕事をしていたところ、畑でうつぶせで倒れているところを発見される。

事例 2
8月、60代、入院

数日間の炎天下での作業ののち、嘔吐や下痢の症状があらわれ、食事や水分が摂取できない状態が続き、入院した。

事例 3
7月、60代、入院

ビニールハウスで、朝から昼前まで作業をしていたところ、多量の発汗や嘔吐の症状があらわれ、救急搬送され入院した。



※JA共済調べ

7・8月、高齢者(70～80歳代)は特に注意!

農作業中の熱中症による死亡者数



※発生月が不明な事故が1件あるため、総数は右のグラフと異なっています。



※農林水産省調べ[平成22～令和元年](道府県職員が厚生労働省の「人口動態調査」に係る死亡小票を開覧する等の方法により調査)

農林水産省ホームページより

熱中症対策に 水分・電解質(イオン) 補給を!!



注意

高齢農業者が
熱中症になりやすい理由



発汗量が多い

体内の塩分の損失量が多い

喉が渇くと感じず
水分・塩分補給しない

体内の水分量が減る

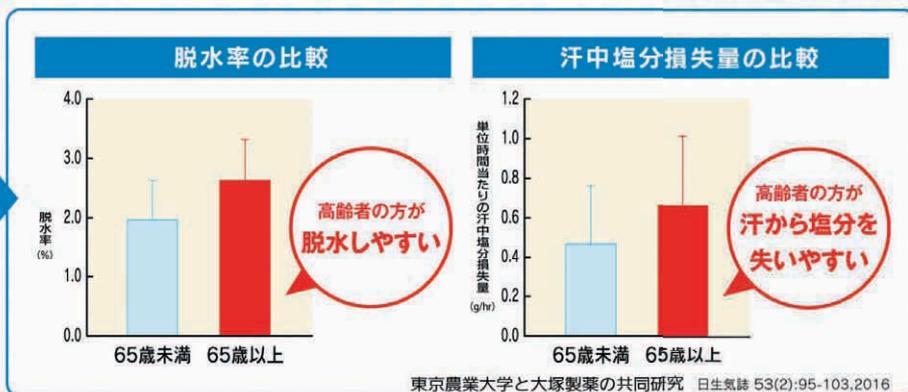
体温が上昇

熱中症



高齢農業者は発汗量が多く脱水しやすい!

夏場のハウス栽培作業時における農業者の汗のかき方を調査しました



水分補給時のポイント

汗で失う水分・塩分を補うため、喉の渇きを感じる前から塩分を含む飲料をこまめに飲みましょう。

特に65歳以上の高齢農業者は発汗量が多く、汗から塩分も多く失われるため多めに補給することが必要です。

1時間で500ml
ペットボトル
1.5本程度

熱中症対策に水分・電解質(イオン)補給を

発汗時の水分補給には電解質(イオン)バランスのとれた飲料が効率よくカラダに吸収され、長時間カラダをうるおしてくれます。

飲料別体内キープ力比較

飲んだ後、2時間座り続けた間、飲んだ量のうちカラダに残った割合。



データ: Doi T, et al: Aviat Space Environ Med (2004) を改変



制作協力: 大塚製薬株式会社



1 令和5年度(第2回)北海道警察官採用試験に向けた採用募集活動の推進

北海道警察官募集中

「あなたにしかできない仕事がある」

(1) 試験概要

○採用予定人数

200名程度男性A区分35名程度、男性B区分115名程度
女性A区分15名程度、女性B区分35名程度

○受験資格

【学歴】

A区分～学校教育法による大学(短期大学を除く。)等を卒業した者(令和6年3月末日までに卒業見込みの者を含む。)

※高度専門士の称号を取得又は令和6年3月末日までに取得見込みの者を含む

B区分～A区分以外の者

【年齢】

平成3年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者(令和6年4月1日現在で18歳以上33歳未満)

(2) アピールポイント

アこどもを始めとする歩行者の安全の確保

イ横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上

ウ自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

(2) 交通事故防止のポイント

ア「あなたの個性や特技を生かせるフィールドがあります」

警察官の仕事は多岐に渡ります。あなただから救える人や、あなたがいるからできること、あなたにしかできない仕事があります。

イ「仕事も私生活も充実させたい、その思いをかなえます」

北海道警察は仕事のやりがいはもちろん、私生活の充実も大切にする組織です。

ウ「受験しない理由が見つからない」

悪は許せない、やりがいを持って仕事がしたい、大好きな北海道で働きたい、働きながら自分の成長を感じたい、そんな熱い思いを持っているあなた、受験しましょう。

エ「まずは北海道警察について知ろう」

説明会の案内は、北海道警察ホームページや採用センターのSNSを御覧ください。

2 暴力団排除活動の推進

暴力団地域団結断固拒否

暴力団は、組織の維持・拡大のために、覚醒剤密売や特殊詐欺、密漁、みかじめ料

・用心棒料の要求等の犯罪行為を行うだけでなく、組織の関係者を利用して一般社会における経済取引へ介入するなど、様々な手段を用いて活動資金獲得を図っており、暴力団の活性化は様々な犯罪を誘発するだけでなく、暴力団の引き起こす対立抗争を激化、長期化させる原因ともなり、道民の皆様の安全で平穏な日常生活と健全な経済活動に大きな脅威と不安を与えます。

警察は、暴力団の壊滅に向けて強力な取締りを推進していることから、道民の皆様も

「暴力団を利用しない」

「暴力団を恐れない」

「暴力団に金を出さない」

「暴力団と交際しない」

を合い言葉に、暴力団の違法・不当な活動や犯罪被害に関することは、どんな些細なことでも早期に警察に相談、通報する強い意志と勇気を持って、社会から暴力団を追放しましょう。

組合員の異動

令和5年6月30日現在

※() 前号比

地区名	正組合員数	准組合員数
美深・音威子府	(-1名) 268名	(-7名) 547名
下川支所	(-3名) 144名	(-1名) 185名
中川支所	(-1名) 88名	(-3名) 164名
合計	(-5名) 500名	(-11名) 896名
	1,396名	

編集後記

7月に入り農作業等が忙しくなると思います。事故・怪我には十分に気をつけ、気温も上がりますので熱中症対策をしっかり行いましょう。

K・S